

第68回 CPD セミナー・公開講座(香川会場)

1 セミナーの概要

2019年12月13日(金)、高松センタービルにて、第68回CPDセミナー・公開講座を開催しました。内容は表1のとおりです。

表1 プログラム

1. 四国本部 本部長挨拶 (14:00~14:10)

四国本部副本部長 細谷 芳照氏

2. CPDセミナー (14:10~15:50)

演題：『広島災害における中国本部防災委員会の取り組みと意見交換』

講師：中国本部防災委員会委員長
山下 祐一氏

3. 公開講座 (16:10~17:10)

演題：『落語の楽しみ方と寄席』

講師：落語家
桂 こけし氏

5. 懇親会 (17:30~19:30)

(1) 開会挨拶及び乾杯

中国本部防災委員会委員長 山下 祐一氏

(2) 中締め

四国本部総務委員長 谷脇 準蔵氏

セミナー・公開講座参加人数は38名、懇親会参加人数は21名でした。

2 CPDセミナー

CPDセミナーでは、平成30年7月に生じた広島県での豪雨災害において、中国本部防災委員会の具体的な取り組み内容を各章ごとに区切り、山下委員長が講師をされ、四国本部防災委員からの質問と参加者も含めたディスカッション形式で進行されました。

大きく第四章に分け、第一章は「地域防災力向上に向けて」日頃から防災事業に携わる実務技術者の専門性を活かし、防災力の向上につながる活動を目指していますが、地域における専門家不足が大きな課題でした。

小学校に向けた防災教育事例では、小学生



写真1 山下中国本部防災委員長による講演

が現地調査を行い、崩壊箇所や対策内容を観察し、まとめて発表することにより、土砂災害の危険性を認識し、災害への関心が深まることになり、防災教育として有効であることが分かりました。

災害対策を進めていく上で、法律系（弁護士、司法書士など）、技術系（技術士、建築士）、福祉系（社会福祉士、介護福祉士など）による、めずらしい組み合わせから構成する土業連絡会との連携が不可欠です。今回はじめてのことで、どうしてよいか分からない点が多かったのも現状でした。

第二章では「災害発生時の技術士会としての活動」の紹介があり、中国本部会員のスタッフ派遣



写真2 三井四国本部防災委員による質問

が延べ人数49人参加されました。ボランティアの事務局、社会福祉協議会から技術士に相談がありました。広島県内でも最も被害が大きかった坂

町の災害おたすけセンターから技術士会へ「裏山の斜面に亀裂が入り不安」「手前の家の横を土砂が流れる」「家に土石流が押し寄せる」「被害の判定と今後の対応について」の相談依頼があり、回答作成・報告が行われました。

第三章では「広島県、広島市の災害支援等の活動と協定」、広島県要請の被害者相談会で地元から



写真3 松尾 香川大学客員教授による質問

技術士・弁護士などに相談が寄せられました。現協定の中で広島県は、仮設住宅での居住期間を2年で区切っています。第四章では「応急復旧・復興時の技術士会の被災者支援」として防災マップ作り、避難訓練の支援が行われました。

3 公開講座



写真4 落語家の桂こけしさんによる講演

公開講座では、技術士会としては初の試みであります、落語家の桂こけしさんをお招きして公開講座を開催しました。

桂こけしさんは、要潤さんとは小中高と同じ学

校で、住まいは目と鼻の先でありました。大学を卒業された後、桂米朝さんに入門、十七番弟子として師事しました。20人中17番目であります。

一番弟子は「新婚さんいらっしやい」でおなじみの桂三枝さん、二番弟子は桂きん枝さん、三番弟子は桂文珍さんでした。落語の芸は日本だけにあり、それはお殿様から来ているとのこと。

入門したら見習い、各師匠のお茶の好み、師匠に誤って熱々のお茶をかけてしまうなど、大変ユニークな苦労話でした。大阪は上方落語、東京は江戸落語ですが、言葉が違うだけであります。

山形大学医学部では、安上がり健康法として脳梗塞・心筋梗塞などにも効果がある「よく笑う→死ににくい」と大変面白い講演内容でありました。

4 懇親会



写真5 山下中国本部防災委員長の挨拶・乾杯

山下中国本部防災委員長の挨拶、乾杯の音頭で懇親会がはじまり、約2時間の歓談の後、谷脇総務委員長の中締めで、盛会裏に閉会することができました。

5 おわりに

今回のセミナー・公開講座は、技術士としての本格的な防災支援活動、桂こけしさんによるユニークな講演内容でありました。次回も引き続き、会員の皆様に有意義なセミナー・公開講座となるように努めて行きたいと考えています。

丸山 正 (まるやま ただし)
技術士 (建設部門)
四国本部事業委員 (香川地区幹事)
青葉工業株式会社